

「埼玉県の団体、設立状況について」

労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 埼玉事業本部 富澤 一樹

埼玉県内の団体の設立状況についてお伝えをさせてほしいと思います。

これまで全国で労働者協同組合はおよそ 190 件が設立されていますが、埼玉県にはそのうち 17 件が設立され、活動しています。

ワーカーズ・コレクティブという名称がよく目につくのですが、私が所属しているワーカーズ・コープと同様、ワーカーズ・コレクティブは元々、労働者協同組合法という法律の制定、協同労働という働き方を求めて活動してきました。そのため、法律の制定後、多くの事業所が NPO や企業組合から組織変更、あるいは任意団体からの法人成りしたり、多くの組合が設立されてきました。17 件のうち、13 件がワーカーズコレクティブの事業所となります。私のいるワーカーズコープは池袋に本店を置く 1 つの単一の組合であり、埼玉県の組合ではないため、ここには出てきておりません。

労協法第 1 条には「持続可能で活力ある地域社会の実現に資することを目的とする」とありますから、地域に暮らす方たちが課題解決のために立ち上がって設立されることが望ましいのですが、そうした組合は、新しくできたやぎのお茶会を含め、まだ 3 件しかなく、まだ周知、広報、それから、「設立したい、詳しく聞きたい」という方に向けての支援には課題があるように思えます。

こちらは厚生労働省のホームページからお借りした資料で、全国 193 件のうち、埼玉県は 16 件、企業組合からの組織変更が 27 件のうち 9 件、NPO からが 15 件のうち 2 件、それから、特定労働者協同組合というものが現在全国に 16 件あるのですが、そのうち 3 件が埼玉県にあります。

特定組合は、従事分量配当をしないこと、解散時残余財産を分配しないこと、が定款に明記されることで県に認定申請を出すことができ、認定を受けることで特定組合になることができます。労働者協同組合は税法上、普通法人に位置付けられますが、特定組合は「公益法人等」の扱いとなり、法人税等の支払いで有利になるメリットがあります。

私が説明するときには、「NPO 法人と同等の公益性を担保する代わりに、NPO と同等の税制優遇を受けることができる組合」というようにお伝えしています。

県内に 3 つの特定組合が存在するのは東京都と埼玉県くらいで、これも大きな特徴かと思います。

特定組合の 1 つ、北本市のてとてを少し紹介したいと思います。こちらもワーカーズ・コレクティブの事業所の 1 つで、昨年 8 月に NPO 法人から組織変更してできた組合です。

北本駅から 5 分ほどのところにこの北本生活館がありまして、ここで、地域コミュニティ

事業、高齢者の居場所づくりや、小さいお子さんや保護者の方向けのひろば事業などが行われています。

ちなみに車についているロゴ、ちょっと小さいですが、「てとて」という名称にちなんでこのような特徴的なロゴが作られています。

2009年に任意団体として設立、2011年にNPO法人となり、生活サポート＝家事支援、福祉有償運送事業、居場所事業、それからこども食堂といった事業を行っています。

2016年からは子ども食堂も行われていて、その傍ら、近隣の企業などから支援をいただきフードパントリー、それから学習支援といったいずれも公益性の高い事業が行われています。

NPO から組織変更してよかった点について伺ったのですが、「働き方をみんなで見直すことができている、労働環境の整備ができてきている、新しいスタッフが増えるのではないかと期待を持っている」とのお答えでした。

やりとりをしていて代表の方が「私たちは話し合いでしか前に進めないと思っている」と言っていたのを今でも記憶しています。組合員一人ひとりの意見を大切にする組合であるといえます。

もう1つ、鴻巣にある組合「こうさてん」も触れたいと思います。こちらもワーカーズ・コレクティブの事業所の1つで、NPO法人から組織変更してできた組合です。活動内容はとてとよく似ていて、この建物、団地の中の元はうどん屋さんだったそうですが、ここでコミュニティカフェの運営、隣の建物でリサイクルショップ、そして福祉有償運送事業、子育て支援、と幅広い事業を行っています。

「運営してみてわかってきたこと」…これは代表の方が埼玉大学で講義をしてくれた時の資料なのですが、いずれも事業を運営している人にとって大事な教訓だと思います。とりわけ「知らないはないに等しい」と、広報・宣伝・営業の必要性を説いています。

実際にこうさてんは、インスタグラムやブログ、それに厚労省の好事例動画などなど、様々な所に出てきていて、周知活動に力を入れていることが伺えます。

今後は埼玉県にある17の組合で、「こんなことで苦労しているんだ」、「こんな時どうしたら」といった話を聞く機会があると良いと思います。